

## 第 5 章 海の安全・安心の確保

### 第 1 節 我が国周辺の船舶隻数事故数の動向

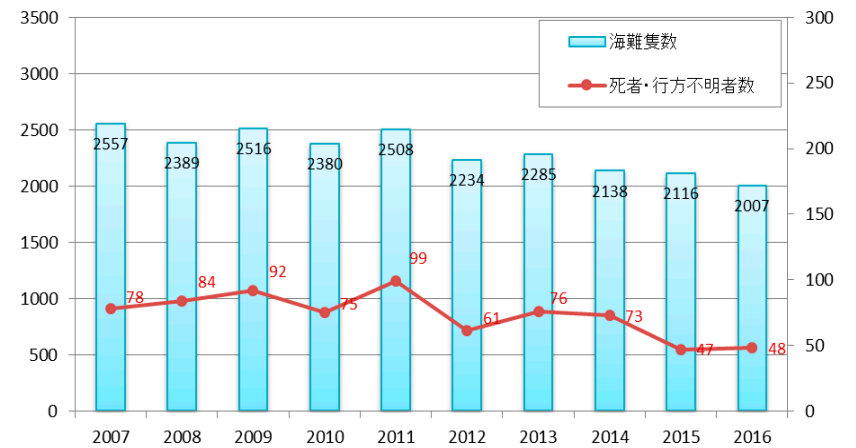
2016 年に我が国周辺海域で発生した海難（本邦に寄港しない外国船舶の事故を除く。以下本節において同じ。）は 2,007 隻で、前年より 109 隻減少し、過去 10 年で最も少なかった（図表 I-8-1）。その内訳を船舶種類別にみると、プレジャーボートの海難が 878 隻（海難全体の約 44%）、漁船の海難が 626 隻（同約 30%）で、プレジャーボートの海難が減少した一方で、漁船の海難が増加した（図表 I-8-2）。

我が国の海難は全体として減少傾向にあるものの、個々に見れば、プレジャーボート、漁船のさらなる安全対策が必要であると考えられる。

図表 I-5-1 2016 年に発生した主な事故

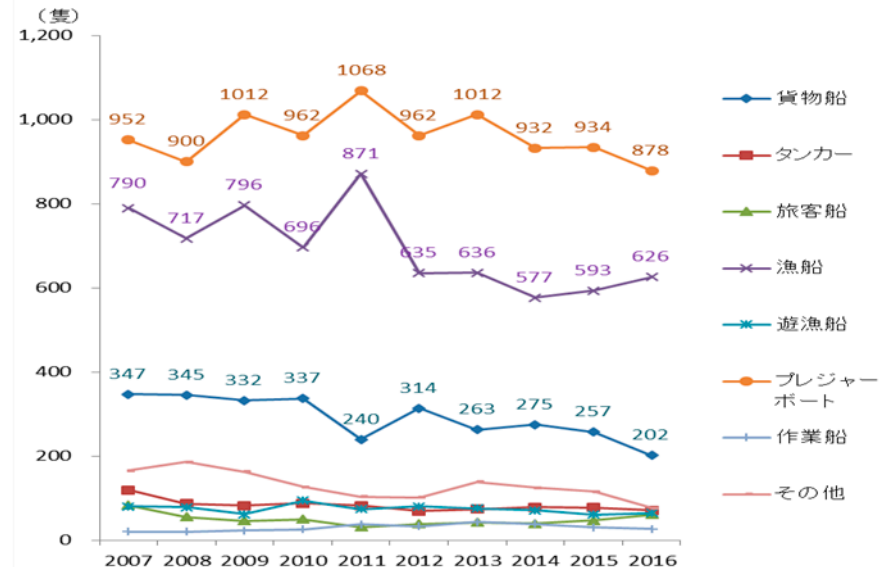
- 1月8日 高速船「ビートル」の海中生物との衝突事故  
釜山港 20 マイルの位置で本船が水中生物らしきものに衝突し、高速翼走が不能となった。乗客 8 人が負傷。
- 6月27日 水上バス「ホタルナ」着岸作業中に左舷後部が栈橋に接触  
東京・浅草を出港した本船は日の出栈橋に着岸する際、船の左後方部分が栈橋にぶつかり窓ガラスが破損。乗客 1 人が負傷。
- 8月1日 フェリーきたきゅうしゅうⅡと LPG 運搬船の衝突事故  
本船が LPG 運搬船を追い抜いたところ、前方のフェリーつくしの距離が狭まることになった。本船は減速し舵を切ったが、次に前方の岩場に衝突するおそれが生じたので、後進させたところ、船尾部が先に追い抜いた LPG 運搬船の船橋衝突。乗組員・乗客に負傷者なし、LPG 流出なし。
- 10月1日 旅客船「3号はやぶさ」火災事故  
青森港向け航行中、車両甲板で、積載シャーシの冷凍機ユニットから火災発生、迅速な消火活動により火災発生後、5分ほどで鎮火。乗組員・乗客に負傷者なし。
- 12月14日 漁船「大福丸」転覆事故  
エンジントラブルのため、他の漁船により曳航中に島根県松江市美保関町美保関灯台北約 1 マイル付近にて転覆。乗組員 9 名のうち 4 名死亡、5 名は行方不明。

図表 I-5-2 我が国周辺の海難発生状況の推移



（注）海上保安庁の資料をもとに海事局で作成

図表 I-5-3 船舶種類別の海難発生状況の推移



（注）海上保安庁の資料をもとに海事局で作成